

# 「症状に対応した効果的な生活訓練及び 支える家族への支援方法」

交通事故や脳血管疾患等で脳機能に後遺症が残った場合、「記憶障がい」、「注意障がい」、「遂行機能障がい」、「社会的行動障がい」等の症状により、周囲との関わりが難しくなり、日常生活や社会生活がスムーズに行えない場合が生じます。

そこで、今回は支援に携わる方々（支援者）を対象に、「症状に対応した効果的な生活訓練及び支える家族への支援方法」をテーマに、効果的な訓練方法や家族への支援方法について、理解していただくための研修会を開催いたします。



講師	社会医療法人 宏潤会 大同病院 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 藤山 美由紀 氏
<p>平成13年3月 岐阜大学医療技術短期大学部 看護学科卒業 平成13年4月 名古屋市総合リハビリテーションセンター 入職 平成22年7月 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 資格取得 平成29年4月 名古屋市総合リハビリテーションセンター 退職 平成29年5月 社会医療法人宏潤会 大同病院 入職 現在に至る</p> <p>《 著書 》 ○ 阿部順子他監修、名古屋市総合リハビリテーションセンター編著、50シーンイラストでわかる高次脳機能障害「解体新書」、メディカ出版、2011年 ○ 深川和利監修、藤山美由紀他編著、NANDA-Iの看護診断にもとづく高次脳機能障害の標準看護計画、メディカ出版、2014年</p> <p>《 所属学会 》 ○ 日本高次脳機能障害学会、○ 日本交通医学工学研究会</p>	
日時	令和3年12月24日（金）14：00～16：00
会場	岐阜県精神保健福祉センターよりオンライン開催 （ZoomによるWeb開催）
対象	行政機関、医療機関、福祉施設、事業所等で支援に携わる方々
主催	岐阜県精神保健福祉センター（岐阜県障がい者総合相談センター内）